

7月5日 梅雨前線洪水に伴う玉川ダムの効果 について

7月5日(金)から6日(土)まで梅雨前線の通過による降雨が継続し、玉川ダムでは流入量が増加したため、下流河川の増水を低減させるために「洪水調節」を行い、**約141万立方メートルの水量をダムに貯め込みました。**

なお、これまで無降雨が続いたため、玉川ダムでは貯水位が最低でEL386.04m(貯水率≒94%)まで低下し、渇水傾向となっておりましたが、今回の洪水を貯留したことにより、**最高でEL387.13m(貯水率≒100%)まで回復しました。**

■洪水発生日
平成25年7月5～6日

■7月5～6日の洪水

洪水発生日	平成25年7月6日
最大流入量の時刻	12時00分
最大流入量	毎秒 約247立方メートル
最大流入時の放流量	毎秒 約199立方メートル
調節量	毎秒 約50立方メートル
貯留量	約141万立方メートル
貯水位(最低時)	EL386.04m、貯水率94%(7月3日 18:00)
貯水位(最高時)	EL387.13m、貯水率100%(7月6日 14:00)

※最大流入量＝ダムに入ってきた1秒間の最大の水の量

※最大流入量時の放流量＝1秒間に最大の水の量が入ってきているときにダムから流している水の量

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 玉川ダム管理所

管理所長 柴田 富士男(内線:201)

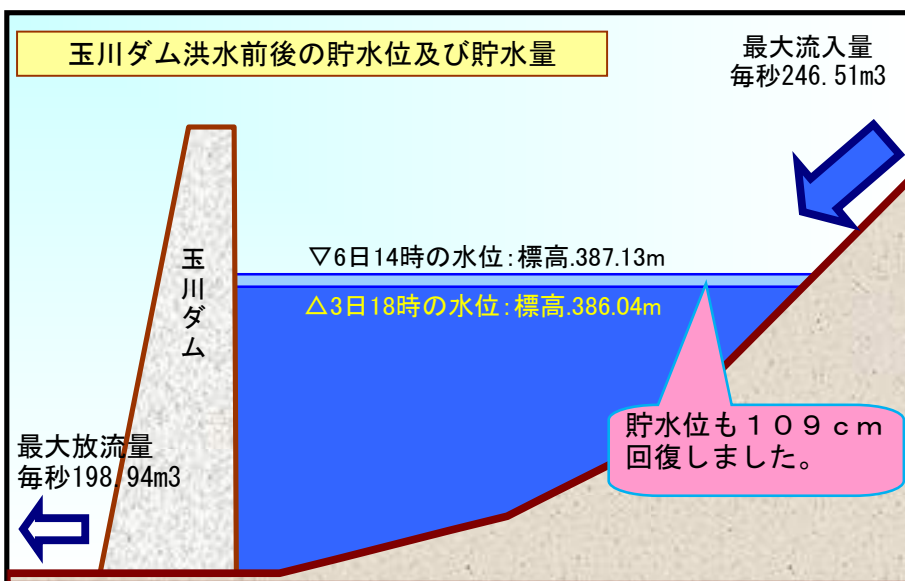
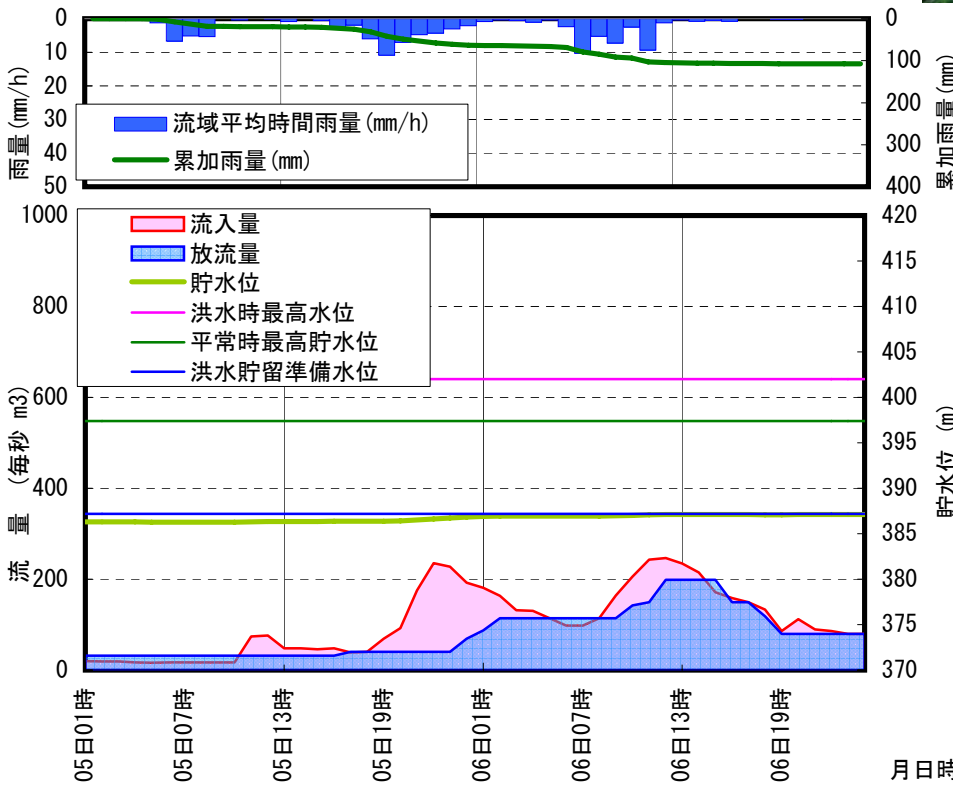
管理係長 細川 朋(内線:332)

〒014-1205 秋田県仙北市田沢湖玉川字下水無92

TEL:0187-49-2170 / FAX:0187-49-2166

7月5日梅雨前線 による出水における玉川ダムの効果

今回の洪水において、玉川ダムでは最大流入量 毎秒246.51m³ (6日12時)を記録しました。5日22時には洪水量(ダムへの流入量が毎秒200m³)に達し、洪水調節を開始。約141万m³をダムに貯め込み、下流被害の軽減に努めました。



最大で141万m³の水をダムに貯めました。

これは、
東京ドーム 約1.1個分
(124万m³)
セリオン 約2個分
(秋田ポートタワー)
(約68万m³)
25mプール 約2,813杯分
(約500m³)
に相当します